

茨城労働局  
栃木労働局  
群馬労働局  
発表  
令和4年11月29日

担当  
茨城労働局労働基準部監督課  
課長 宮地延幸  
(電話) 029-224-6214  
栃木労働局労働基準部監督課  
課長 梅村渉介  
(電話) 028-634-9115  
群馬労働局労働基準部監督課  
課長 小永光邦彦  
(電話) 027-896-4735

## 北関東の3労働局が合同で年末建設一斉監督を実施します ～建設業の労働災害の防止を徹底～

年末・年始の時期は、建設業にとって繁忙期となっており、年度末に向けた工事の集中化などで建設工事における労働災害の発生が懸念されるところです。

このため、茨城労働局・栃木労働局・群馬労働局の3労働局において、合同で、令和4年12月1日(木)から12月14日(水)までの間、建設工事に対する一斉監督を実施し、年末・年始の時期における建設工事の労働災害の防止の徹底を図ります。

### 【3労働局（茨城・栃木・群馬）管内における建設工事の労働災害発生状況】

北関東3労働局管内における建設業の令和4年労働災害発生状況（10月31日現在）をみると、死傷災害（休業4日以上）が568件と前年よりも55件（前年比8.8%）減少していますが、死亡災害は、3労働局全体としては、16件と前年よりも1件（前年比6.7%）増加しています（群馬局は死亡災害ゼロを継続）。【別添1】

（内訳）

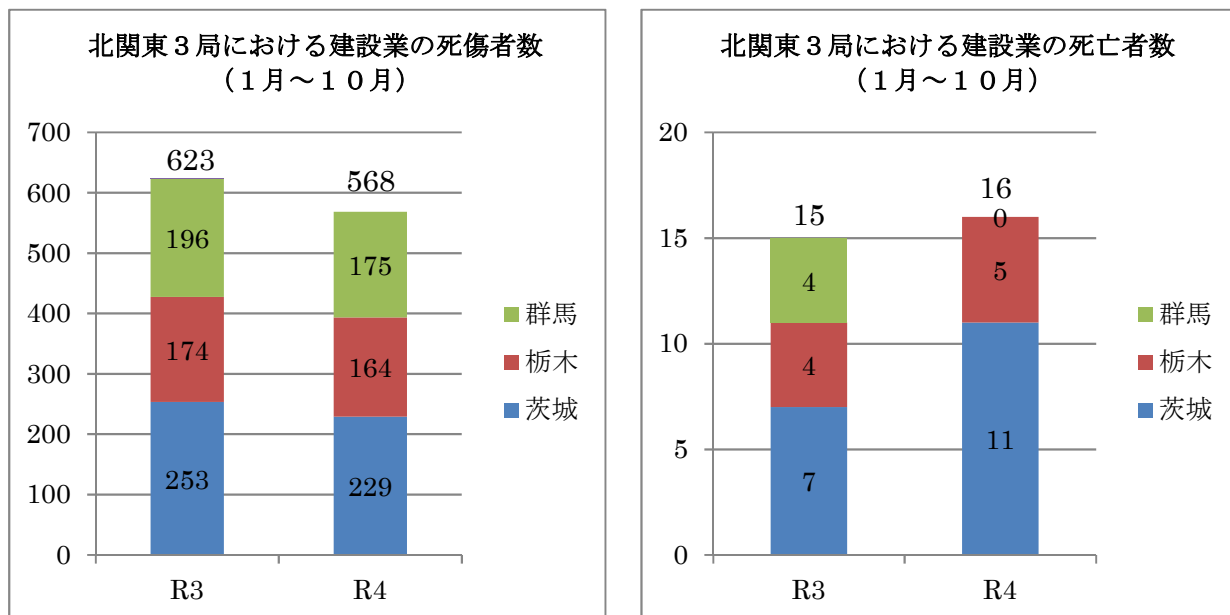
	茨城労働局	栃木労働局	群馬労働局
死傷災害 （休業4日以上）	229件	164件	175件
死亡災害	11件	5件	0件

※ 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除く

※ 群馬労働局管内の災害発生状況については、別添2のとおり。

【令和3年と令和4年の比較】

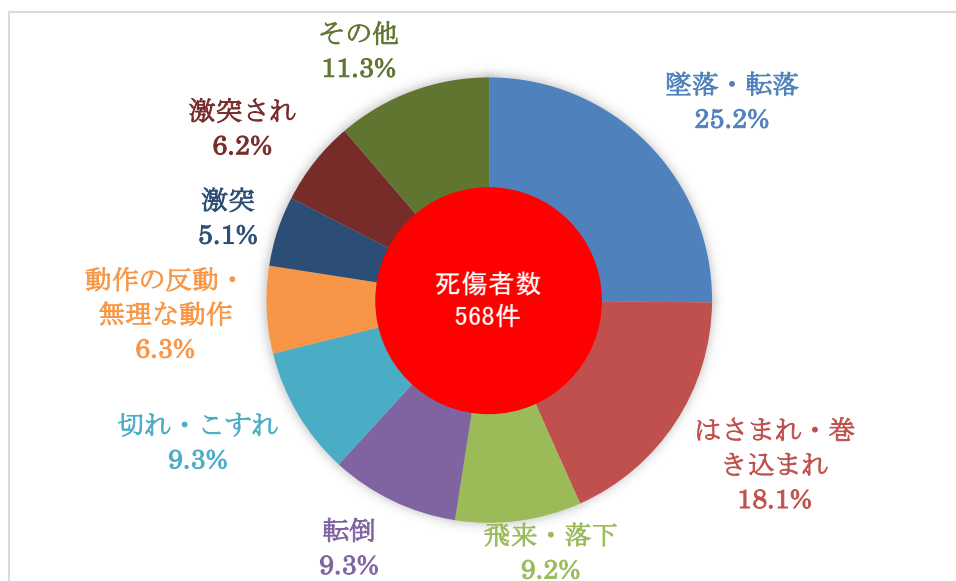
グラフ1 北関東3労働局管内における建設業の労働災害発生状況（死傷、死亡）



【事故の型別】

労働災害発生状況における事故の型別の内訳をみると、墜落・転落災害が25.2%と最も多く、以下、はさまれ・巻き込まれ災害（18.1%）、転倒災害（9.3%）、切れ・こすれ災害（9.3%）の順で多くなっています。（グラフ2）

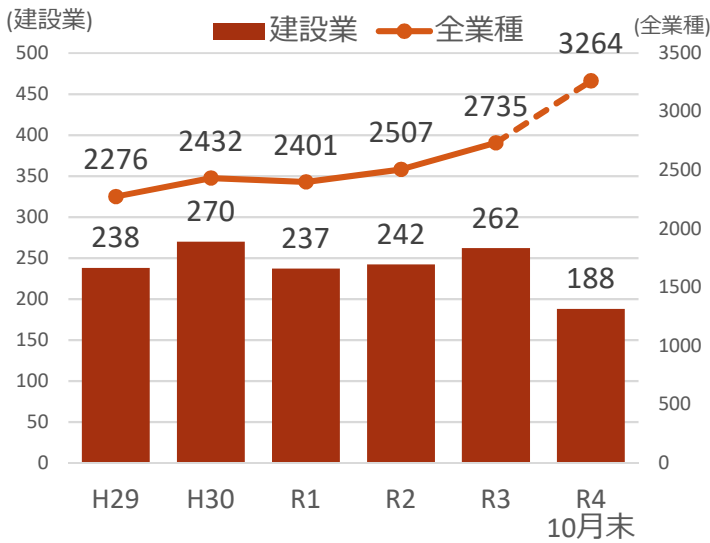
グラフ2 令和4年度 北関東3労働局管内における建設業の労働災害発生状況(事故の型別)



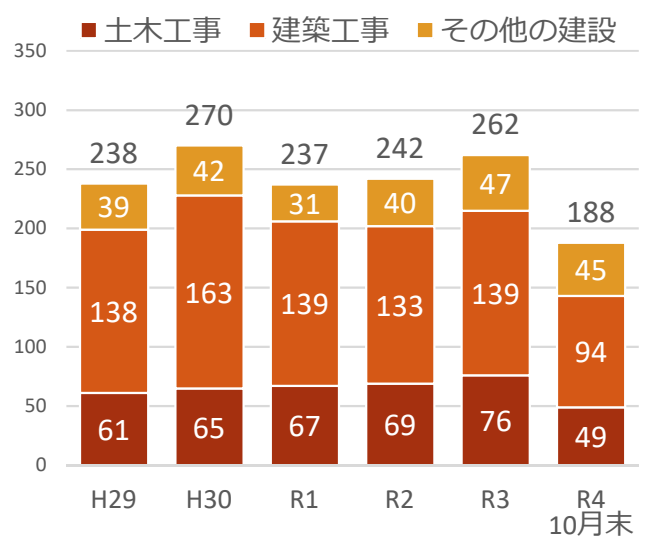
# 令和4年群馬労働局管内の建設業の労働災害発生状況

※R4.10月末速報（新型コロナ罹患による死傷者数を含む）

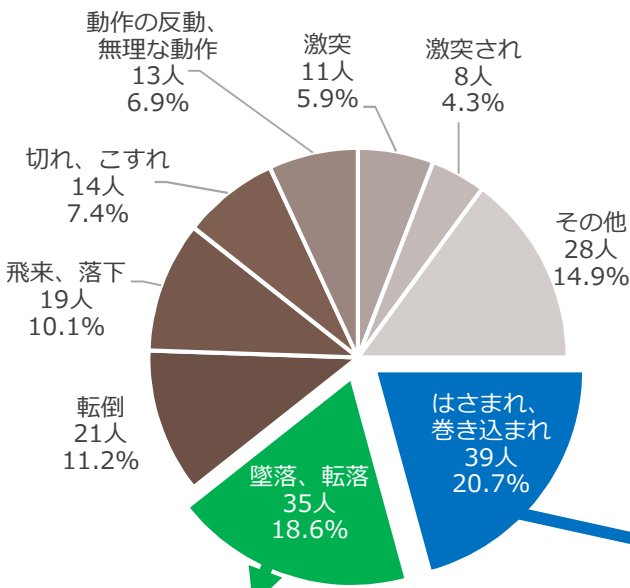
労働災害発生状況の推移



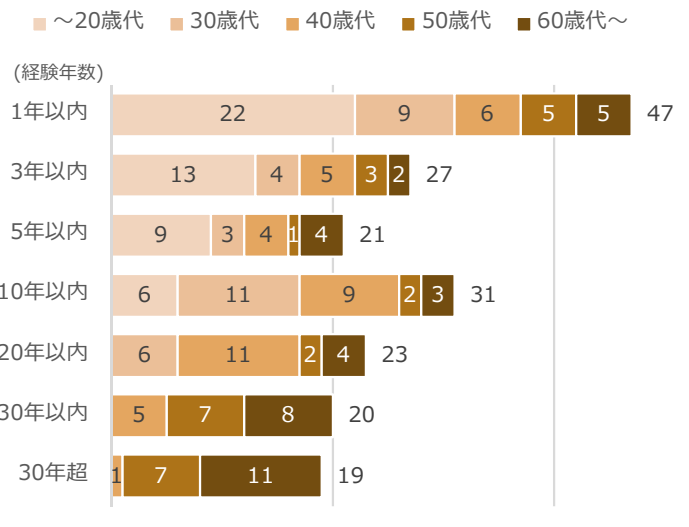
工事種別 労働災害発生状況の推移



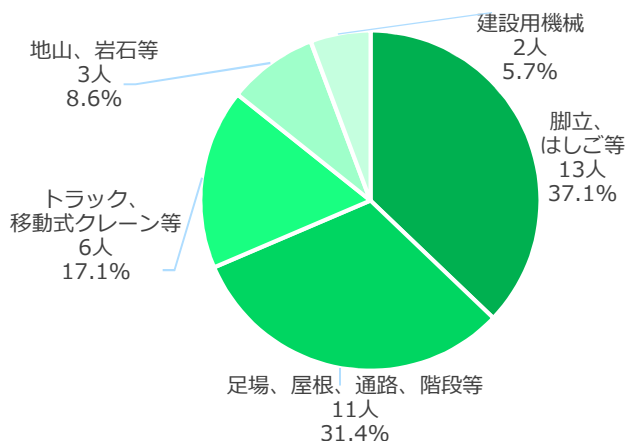
事故の型別の割合 (令和4年(10月末速報))



年齢別・経験年数別 労働災害発生状況 (令和4年(10月末速報))



【墜落、転落災害】における起因物 (昨年69件 (前年比34件減))



【はさまれ、巻き込まれ災害】における起因物 (昨年20件 (前年比19件増))

